

関係者の皆様へ:

ご承知のように、2021年4月に国の行政庁を被告とする行政訴訟を提起いたしました。2022年4月からは国側の補助参加人としてかつての所属先研究機関が本行政訴訟に参加しております。

当の訴訟提起から約2年の歳月を経て、本年6月1日に実施された人証調べの後には、大阪地裁より、「私的流用があったとは判断されえない」との心証開示がなされました。現在、この心証開示に基づき、大阪地裁に仲裁をしていただきながら、6月以降、国側と和解協議を行っている最中にあります。

主に、国側の決済手続きに多大な時間が要されている状況にはあるのですが、和解協議も最終段階に来ておりますことを、ここに関係者の皆様へご報告いたします。

私自身は、自らの信仰とともに、静謐でありながらも壮健な日々を送っております。この間、大きな困難に直面することもありましたが、すべて自らの信仰を深める上で、必要な糧であったとも振り返っております。

本事件や本訴訟につきましては、誤解に基づく風説が流布しないためにも、世に対し、私の方より、責任を持って、直接説明を行う予定でいております。

関係者の皆様には、寛容に基づく私の存在への深い理解とともに、忍耐と冷静さにあって決して風説に惑わされることなく、これまで私をただひたすらに暖かく見守っていただきましたこと、この場を借りて心より感謝申し上げます。

2023年9月10日

中島 清貴

「神に感謝する 我が魂が征服されぬことを
その門がいかに狭く どんな辛苦が待ち受けていようとも
我が運命の主は我なり 我が魂の指揮官は我なり」
“Invictus(Unconquerable)” by William E. Henley